

額田地域の地域内交通について

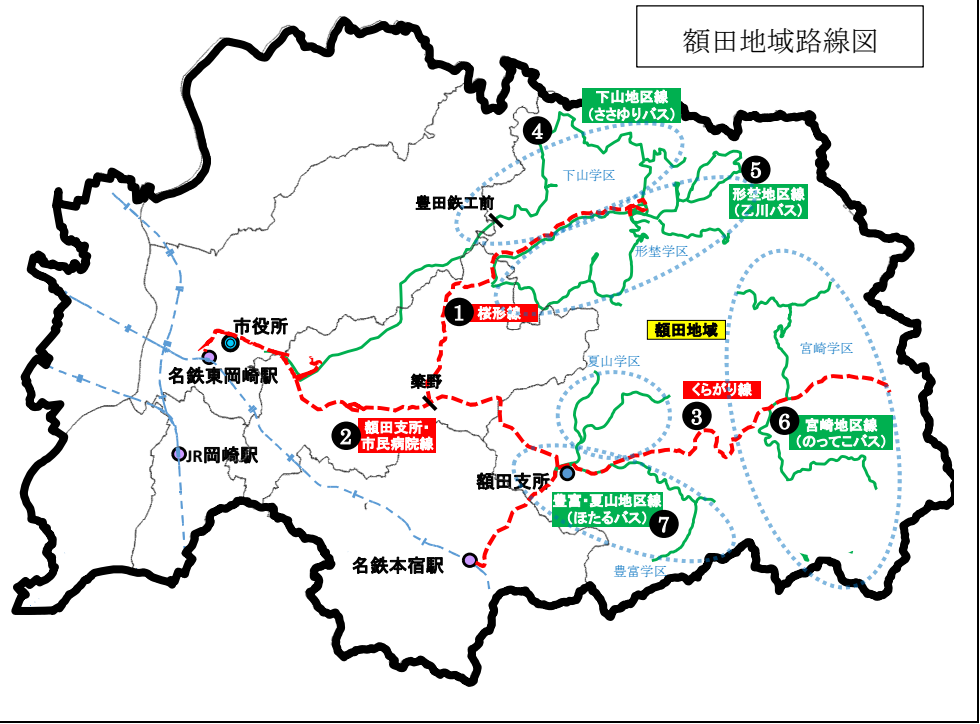
1 はじめに

額田地域では、幹線（地域間交通ネットワーク）として名鉄バス桜形線、くらがり線が、フィーダー路線として額田支所・市民病院線、額田地域コミュニティ交通下山、形埜、宮崎、豊富・夏山地区線が運行しており、タクシーも含めて地域の移動を支え、地域コミュニティを維持している。

地域交通に関して、岡崎市地域公共交通会議をはじめとした各協議会において、十分に議論なされることが必要であり、交通事業者等と連携するとともに、地域が主体となって会議を開催し、当該地区の交通について協議を行っている。

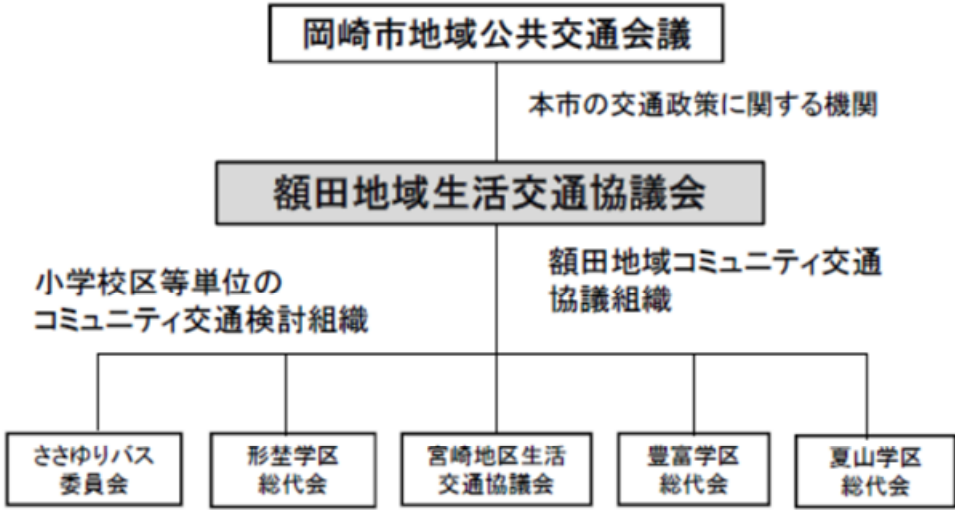
2 額田地域の概要

○令和6年4月時点

地域内人口	7,324人	
学区別人口	豊富：3,930人 夏山：641人 宮崎：992人 形埜：1,179人 下山：582人	
年少人口割合 （15歳未満）	9.13% （市：13.31%）	
高齢者人口割合 （65歳以上）	40.37% （市：24.59%）	
過疎地域等指定状況	山村振興法	

3 検討協議会

地域における協議のため、地区主体の各地区協議会が5つ、額田地区全体として1つの協議会があり、運行内容の改善策や、地域に合った運行方法の検討等を進めている。



4 利用実績（額田エリア）について

- ・額田地域を運行する路線の年間利用者数は約17,700人である。1運行日あたり利用者数は約63人、通勤・通学利用者数は1日あたり10.0人となる。
 - ・特認校制度により利用者数が増加した下山地区線を除いて、令和4年度より利用者数が減少した。
- ※額田エリア：バスの運行頻度が比較的に少なくなる額田センター、築野以東のエリアとする。

○利用実績（表内同一箇所の数字は上：令和3年度、中：令和4年度、下：令和5年度実績）

		年間利用者数	1運行日あたり 利用者数	1運行日あたり 通学・通勤利用者数※ （額田⇄市街地）	運行便数／日	
					平日	休日
①	桜形線	2,816人	7.7人	0.7人	8便	8便
		4,051人	11.1人	1.6人		
		3,141人	8.6人	1.0人		
②	額田支所・ 市民病院線	3,675人	10.1人	0.6人	12便	11便
		4,328人	11.9人	0.4人		
		4,314人	11.8人	0.0人		
③	くらがり線	5,899人	16.2人	0.9人	19便	18便
		8,112人	22.2人	2.3人		
		5,675人	15.5人	5.4人		
④	下山地区線	2,676人	11.1人	4.0人	8便	-
		2,581人	10.6人	4.0人		
		4,115人	16.9人	3.6人		
⑤	形埜地区線	426人	8.7人	-	4便	-
		342人	6.8人	-		
		136人	2.9人	-		
⑥	宮崎地区線	238人	6.4人	-	5便	-
		290人	5.8人	-		
		192人	3.9人	-		
⑦	豊富・夏山地区線	240人	5.8人	-	4便	-
		261人	5.3人	-		
		147人	2.9人	-		
額田エリア乗降計 （路線計）		15,970人	66.0人	6.2人	60便	37便
		19,965人	73.7人	7.9人		
		17,720人	62.5人	10.0人		

※名鉄バス路線（桜形線、額田支所・市民病院線・くらがり線）は年間利用者数から0D調査日（R5.5）の定期券利用者の割合より算出。下山地区線については朝夕便利用者。

5 今後の対応

現状の運行が令和7年3月31日までのため、次期運行事業者選定作業を進める。

また、額田地域コミュニティ交通について、移動に困っている人の声をアンケート等によって聞くとともに、地元総代会に加え、直接地域住民を訪問する民生委員や福祉委員等と連携して地域の移動手段として周知を行う。

6 その他

（福）岡崎市社会福祉協議会から下山学区地域づくり協議会に対して地域活動を実施する団体での地域共生社会を推進することを目的に地域支え合い車両が貸与されており、ボランティアドライバーによる下山学区の住民の移動支援が行われている。その取り組みが形埜学区を含んだエリアへの拡大を予定している。